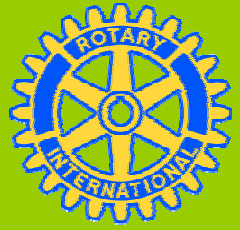


RI第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月7日

RI第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 山本 和男 幹事 白田 八束

【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】 office@tuchiura-rc.org

事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）【TEL】029-822-1250

【FAX】029-824-8830



キララまつりで汗キラキラ

RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005年～2006年度 国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治 38）
日本のロータリー創立：1920（大正 9）

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2005～2006年度

8月第2例会プログラム 8月11日（第2348回）

点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
幹事報告
委員会報告
会食
卓話
にこにこBOX
出席報告
点鐘
ロータリーソング

会長
四つのテスト
親睦活動委員会

「会員増強および拡大月間に因んで」
S.A.A
出席委員会
会長
それこそロータリー（2）

格調高く、和やかに

例会場：ホテルロイヤルレイク土浦／例会日時：木曜日 12:30～13:30

VOL. 6

先週の例会報告

1. 会長挨拶

新年度がスタートして早いもので1ヶ月が過ぎました。この間理事・役員・委員長のご協力を得て第1回理事会・クラブ協議会を開催し新年度の事業計画等を確認しあい新たな目標に向かって第一歩を踏み出しました。

今日の第2回理事会では8月25日に開催されるガバナー公式訪問について各委員の役割等を確認しました、更にその他の件に関して臼田幹事と準備をしていますが、当クラブにはこれまで多くの実績がありますので大変心強く思っています、全会員参加の例会が出来ますようご協力宜しくお願いいたします。又8月13日にはローターアクトが道心園との交流会を行いますので多くの会員の参加をお願いいたします。



2. 法話 「無財の七施」

曹洞宗「宝積寺」飯山 孝之住職



お釈迦様の教えの基本は、「縁起」で、あらゆる物事が、繋がりがあってできているというものです。人の繋がりも、人と人との出会いも縁起であり、助け合い、支え合いの中で私達は生きているのです。

お釈迦様の教えに、「あげた相手を忘れ、あげた品物も忘れ、あげたこの私自身を忘れ得ることができる」のが本当の助け合いであり、お礼であり、恩返しであると言われます。しかし、それがなかなかできないのが、私達人間なのです。

今ではほとんどの商品には値札がついていて、贈り物をして相手方に値段が分かってしまいます。私はあの家に5千円のお中元を差し上げたのに、返ってきたのは3千円のものじゃないか、という事になって、とかく気まずいものです。一寸損したというそんな思いを抱くようでは、本当の助け合いや恩返しとはいえないわけです。日々の暮らしの中で、このように物を差し上げるとか、お金を施す事によって、相手にお礼や恩返し、あるいは少しでも喜んでもらおうという事を考えて行く事は、これはこれで大変な事だと思います。仏法の中で、自分にお金がなくとも物がなくても、相手に喜びを与えて行く、少しでも喜んでいただける方法があるという事を教えられているのが、この「無財の七施」という教えであります。

これからの人生において、お金がなくとも物がなくても、一人でも相手を喜ばして行く事のできる施し、それを心に留めながら、少しでもそれを実行していけば、自分自身も喜んで暮らす事ができ、相手にも喜んでもらえるのです。「無財の七施」というのは、特別のお金持ちでなくても、普通の人が日常的にできる布施の種類で、世の中がぎくしゃくしている現代にあっては、この布施は世の中、すべての人々の心を和ませてくれるもので、次の七つがあげられます。

1. 「眼施」 2. 「和顔施」 3. 「言辞施」 4. 「身施」 5. 「心施」 6. 「床座施」 7. 「房舎施」

一番最初の施しを眼の施し、「眼施」といいます。常に人に接する時は、優しい目で接して行きなさい、これが大きな施しになると教えています。

優しい目とはどんな目なのか。昔から、「目は口ほどに物を言う」と言われています。相手の目を見ると、何が言いたいのが、ある程度わかるといいます。例えば、突然向こうで大きな音がする。大抵の人はすぐそっちを見てしまいます。目が一番先に反応してしまうのです。目を見ていれば、自然とその人の思いというものがある程度わかるので、相手の目を見ながら話し合うという事が大事なわけです。後ろ暗いところがあると、目を背けるという事があります。心の優しさ、相手を思いやる心があれば、自然に優しい眼差しになって、これが相手の心をうって、相手も優しい心になってくる。これが「眼施」です。

また心豊かな人は「他人の長所を見る」、心貧しき人は「他人の短所を見る」とも言われています。これは、心の豊かな人は、相手の良いところを少しでも見て行くことができ、心の貧しい人は、他人の悪いところばかりを見て行くといいます。私達は毎日の暮らしの中において、よく人の悪口を言うものです。悲しいことに、人のあら探しをする、人の悪いところを一生懸命見たくなるのが、私達の現実の姿なのです。心の豊かな人は、人の良い所を見て行く、そういう目を養って行くという事が大切で、できる限りやさしい目で接して行きなさい、というのが「眼施」です。

二番目は、顔の施し「和顔施」といいます。和顔ですから常に、にこやかな顔で接して行きなさい、これが大きな施しになると教えられています。

昔から、四十歳過ぎたら自分の顔に責任を持つと言われてしています。三十九歳までは、親の責任だという、ところが、四十年間の人生の積み重ねと言うものは、必ずその顔に表れてくるのです。意地の悪い人は、意地悪な顔

をしており、よく怒る人は怒り顔をして見えるものです。自然と顔に表れてくるのです。だから、少しでもこやかな顔で、接して行く事によって、相手の心を和らげて行くのです。にこやかな顔が、人の心を和ませてくれるので、できる限りにこやかな顔で接して行きなさいと教えられているのです。

三番目の施しが「言辞施」と言います。言葉の施しです。私達は、毎日一言もものを言わない、言葉を発しないと言う事は、まずないと思います。私達は、毎日話をします。だから、言葉ほど日常生活において、大事なものはないと言う事です。

ある方が、次のように書いておられます。

一口の言葉でけんかして 一口の言葉で仲直り 一口の言葉におじぎして 一口の言葉に泣かされた
一つの言葉はそれぞれに 一つの心を持っている だから言霊という

これからの人生において、できる限り優しい言葉で接して行きなさい、これが大きな施しになると教えられています。

私達の口はまことに罪作りの口で、仏教では、口に関わる悪を、妄語(嘘をつく)・綺語(きれいごと)・悪口(人の悪口をいう)・両舌(ふたまた使い)の四つを挙げています。

四番目は、身体の施しで「身施」と言います。

次の五番目に出てきますが、(心で思ったこと)は自然と身体に現れてこなければなりません。どんなに良い事を思っても、それが実行されなければ、思わないのと同じです。少しでも良い事を思いついたら、俗に言う奉仕、ボランティアのように実行していく事です。そして、それを常に心がける事です。

そういう世の為人の為に、この自分の身体を使わせてもらう事は、それが少しでも人に喜んでもらえると同時に、自分自身も心の満足感というものを味わえる事ができるわけです。

人が見ている、見ていなくても、良い事人の為になる事をさせて頂く、これを仏法は教えているのです。

他にも、仏法で薦められている事に、徳を積むという事があります。人が見ているからといって、良いことをする、それは徳を積む事ではないのです。人が見ている、見ていなくても良い事をして行く、これが、徳を積むと言う事なのです。その徳を積む事によって、人生は思わぬ良い縁に出会うことができます。良い縁に会いたいと思って良い事をするのでは、徳を積むことではないのです。本当に、人様が見ている、いなくても、心で思ったことを身体で実行に少しでも、世の為人の為にさせて頂く事が「身施」と言い、仏法で徳を積むと言う事なのです。

五番目が心の施し「心施」です。私達人間は、心の持ち方一つによって、人生というものが変わっていくものです。だから、一番大事なのがこの心なのです。では、どんな施しかというと、できる限り思いやりの心で接して行きなさい、これが大きな施しになると言われているのです。

あるお経の中で、「仏様の心は、大慈悲これなり」と教えています。仏様は、慈悲を説くといわれており、慈悲という言葉は「人の苦しみを、我が苦しみと受けとめ」「人の喜びを、我が喜びと受けとめ」で行くことができる、これが慈悲の心であると言われています。

私達は、あの人気の毒だとか、かわいそうにとか言う事は、よく言います。ところが、本当に人の喜びを。自分の喜びとしては、なかなか受けとめられない。だから昔から、「人の不幸は蜜より甘く、隣の蔵の壊れる音聞けば、ウグイスの声より心地よい」と言われています。けれども、それを受止めていけるようになるのが、本当の慈悲の心と言われるものなのです。できる限り、そういう豊かな心を育てて参りたいと思います。

六番目は、「床座施」と言って、席を譲りなさいと教えています。

この頃、電車やバスに乗ると、お年寄りや妊婦さん、障害者の人や、怪我をされている人達のための優先席が設けられています。そこへ何も思わずに若者が座っていることが結構あります。そんな今の風潮ですが、例えば、自分よりも少しでも苦労されたように見るとか、少しでも身体が辛そうに見えたら、席を譲りなさい、そう心がけて行く事が、大きな施しになると教えられています。

最後の七番目が、「房舎施」と言います。自分の家を宿として提供しなさいと言う教えです。宿を貸しなさいと言っても、今日の時代では、自分の家に親戚でさえ泊めることがなくなっています。大体どこの市町村へ行っても、皆ホテルや旅館があります。だから、冠婚葬祭ですら、そのようなホテルとか旅館を紹介し、自分の家に泊まってもらうということはまずなくなりました。けれども、もしも縁があって、泊めるような事があった時は、喜んでお迎えをし、喜んでお見送りし、本当に喜んでいただけるように、心配りをするのが、この最後の「房舎施」と言われる施しです。

この「無財の七施」と言う、お釈迦様の教えは、物がなくても、お金がなくても、相手の方に少しでも喜んで頂ける道がある、と言う事を説いているのです。私達も自分の人生の中で、この「無財の七施」の中の一つでも実行ができれば自然と他のことも実行できると思います。そういう心で、暮らして行けば明日からの人生の中で、他人と仲良く、心は安らぎ、潤いを味わい、幸せに暮らせるのではないのでしょうか。

3. 委員会報告

雑誌委員長 海老原 雄一

ロータリーの友 8月号が届いております。今月は会員増強・拡大月間であり、ステンハマーR・I会長のメッセージでも「超我の奉仕の輪を広げる意味で、1クラブ1名純増、会員増強に強くなる方法、クラブを興味あるものとし、新会員に気を配り、親睦と友情を強調しております。

16頁以降、「会員増強の秘けつ」「ZONEとは?」「ロータリーの基本(日本編)」が載っており、新旧会員を問わずロータリーの知識を得るに役立ちます。その間に、シカゴ国際大会の様子が沢山の写真報告があります。どうぞ本誌をロータリアン以外の人々にも読んで貰う様おすすめいたします。

地区職業奉仕研究会報告

委員長 木村 芳弘

ちょっといい話 “小さなお節介”

先週の飯山会員の法話の最後に SAA の倉持さんから、「無財の七施」は「超我の奉仕」そのものですね」というコメントがありましたが、まさに同じ感想を抱きながらその日は例会の帰途につきました。

7月30日に、地区の職業奉仕研究会が笠間稲荷神社の稲光閣で開催され、参加いたしました。「難しいことを易しく。易しいことを有難く。ロータリーの職業奉仕について、会員の皆さんにそのようなお話しができればいいな」という期待を抱いて出発いたしました。ところが、常磐道の土浦北インターに入ったところで事故による大渋滞に巻き込まれ、遅刻をしてしまいました。

齋藤、塙、清水、永井PGのレクチャーは聞き逃してしまいましたが、「ロータリーの職業奉仕について」、萩原亢雄ガバナーからとても解りやすいお話をいただきましたので以下にご紹介いたします。ご承知の通り萩原さんは、関彰商事さんの副会長さんです。

10年ほど前の出来事です。車で走行中に、道端に車を止めて老夫婦が困った様子でおられたので、「どうされました?」と伺ったところ、「遠方から来られて見舞いに行く途中なのだが、古い車なので故障をしてしまった。不案内な土地なので困っている」とのことでした。それでは、「お節介ですが・・・」ということで、会社の従業員さんと呼んで応急処置をして差し上げました。

そのことをすっかり忘れていたところ、後日その時の老夫婦からお手紙をいただき、「お礼に上がりたい」とのことでした。関彰商事さんでは車の販売もしており、数10万台の販売実績をお持ちですが、このようにお手紙をいただき感謝をしていただいた出来事は萩原さんにとって初めての出来事だったそうです。

萩原さんは、ここで「ハッと気がついた!」そうです。

早速全従業員さんに指示を出しました。「路上で止まっている車があったら必ずお声をかけて下さい。そして、お困りだったらご相談にのってください。会社の業務が少し遅れてもかまいません。“そこがあなたの職場”だと思って下さい」その結果、年間で100件以上の「小さなお節介」の報告が従業員さんから萩原さんの下に届けられているということです。「職業冥利に尽きますね・・・」とは萩原さんのお言葉でした。

とても解りやすく、そして有難い余韻の残るコメントでした。

どうやら、職業を通じてできる「お布施」は、たくさんありそうですね。

皆さんのお仕事を通じた“ちょっといい話”を聞かせて下さい。地区ではそれを集めて事例集を作る計画があります。

にここBOX

8/4 40,000円 累計 292,000円
飯山君 ~ 2年間で4度目の卓話、一寸多いかな?
誕生祝 ~ 吉川君、福田君、山本満子様、小野礼子様
河合文恵様、神林節子様、円城寺遵子様

メイクアップ

岩瀬・山本(7/8 RYLA委員会)、木村(7/30 職業奉仕研究会)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
70名	13名	57名	11名	77.97%

例会予告

8/18 地区委員会研究会報告・クラブフォーラム
8/25 ガバナー公式訪問・ガバナー歓迎家族懇親会



誕生祝(八月)

本日のメニュー

- お 椀 かに汁椀
わたりがに ねぎ
- 四角弁当にて -
- 刺し身 かつおの叩きサラダ風
野菜 松の実 大根おろし
- 煮 物 秋刀魚の煮つけ
- とうふ 奴とつる紫 つゆ やくみ
- ご 飯 白飯 柴漬